



2022年3月期 第3四半期 決算概要

2022年2月9日

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹



CAFOの武藤でございます。
2022年3月期 第3四半期決算の概要について説明いたします。

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績などが変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

テルモ株式会社 IR室

E-mail: kouhou_terumo01@terumo.co.jp

ハイライト

Q3/Q3累計実績

- 売上収益：過去最高。心臓血管における需要回復が継続、他カンパニーも堅調に推移
- 調整後営業利益：年初に想定していたマイナス影響に加え、インフレや工場における操業度低下があったものの、Q3累計では20%超の増益

21年度業績予想

- 売上収益+120億円の上方修正。利益は変更しない
- Q4はコロナ再拡大の影響により、症例数を始めとした医療需要の一時的な減少を想定。また、インフレ影響や工場操業度の低下によるコスト増を見込むものの、費用コントロールによって相殺し、利益目標の達成を目指す

まず初めに本決算のハイライトです。

売上収益は、3Qのみが前同比プラス8%、累計はプラス17%でした。

心臓血管カンパニーが、コロナからの回復軌道に乗り、昨年より12%伸びました。

血液・細胞テクノロジーの需要も強く、これに次ぐ伸長です。

調整後営業利益は、コロナ対策で積み増した安全在庫の生産調整も継続する一方、世界的なサプライチェーンの混乱による物流費・原材料などコスト増の影響を受けて、3Qは若干スローダウンしました。累計では、前同比プラス21%の増益です。

この3Qの結果を受け、通期の業績予想を、売上収益のみプラス120億円の上方修正をいたします。4Qはオミクロン株による医療需要の一時的影響も見ますが、3Qまでの上振れ需要を反映し、想定為替レートの見直しを含めます。一方で、工場操業度は正常化してきているものの、サプライチェーン混乱によるコスト増、さらに北米を中心とした賃金上昇は、4Qも継続する課題のため、それ以外の経費管理の強化を一段と進めていきます。が、利益の上振れは難しいと判断しました。

P&L実績

- 売上収益：四半期及びQ3累計として過去最高。心臓血管、特にTISの需要回復が継続。Q3は体温計や感染対策製品の需要が一巡したものの、 Disposable製品の需要はさらなる回復を示し、全体として堅調に推移
- 調整後営業利益：予定していた生産調整、中国入札に加え、インフレ影響、工場における操業度低下によるマイナス影響があったものの、製品ミックス改善と為替のプラス影響により、Q3累計では21%の増益

金額 (億円)	FY20 Q3累計	FY21 Q3累計	増減率	為替除く増減率	FY20 Q3	FY21 Q3	増減率
売上収益	4,486	5,235	17%	12%	1,653	1,788	8%
売上総利益 (%)	2,413 (53.8%)	2,788 (53.3%)	16%	10%	908 (54.9%)	926 (51.8%)	2%
一般管理費 (%)	1,307 (29.1%)	1,463 (27.9%)	12%	8%	447 (27.1%)	507 (28.4%)	13%
研究開発費 (%)	359 (8.0%)	375 (7.2%)	4%	1%	128 (7.7%)	128 (7.2%)	0%
その他収益費用	6	-6	-	-	2	-5	-
営業利益 (%)	753 (16.8%)	945 (18.0%)	25%	17%	334 (20.2%)	286 (16.0%)	-15%
調整後営業利益 (%)	885 (19.7%)	1,072 (20.5%)	21%	13%	372 (22.5%)	330 (18.5%)	-11%
税引前利益 (%)	749 (16.7%)	930 (17.8%)	24%		343 (20.7%)	278 (15.5%)	-19%
当期利益 (%)	586 (13.1%)	717 (13.7%)	22%		268 (16.2%)	217 (12.1%)	-19%
期中平均レート(USD/EUR)	106円/122円	111円/131円			105円/125円	114円/130円	

©TERUMO CORPORATION

4 / 24



収支実績です。

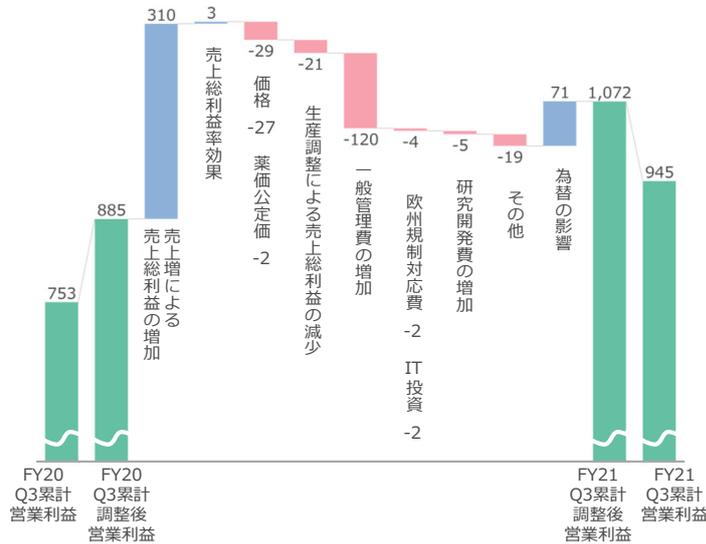
3列目、累計の売上収益は、5,235億円となり、前同比で17%の増加です。調整後営業利益は、1,072億円となり、前同比21%増、利益率は20.5%となりました。

右から2列目、3Qのみの数字です。売上収益は1,788億円で、前同比で8%の増加でした。調整後営業利益は、330億円となり、前同比マイナス11%、利益率は18.5%となりました。

この中身については、次のスライドより、ウォーターフォールチャートにて説明いたします。

調整後営業利益増減分析（Q3累計）

（億円）



- 売上増による売上総利益の増加：
コロナ影響を受けた20年度Q3累計との比較では、心臓血管を中心に全カンパニーで増収
- 売上総利益率効果：
インフレ（輸送費、原材料費、労務費の高騰）と工場における操業度低下のマイナス影響を、TISを中心とした心臓血管の売上増によるミックス改善効果が上回る
- 価格：
主に中国でのTIS製品入札による価格下落
- 一般管理費の増加：
コロナ影響で費用進捗の遅れた20年度Q3累計との比較では大きく増加
- 為替の影響：
主に中国元・ユーロがフローに影響。ストックへの影響は軽微

©TERUMO CORPORATION

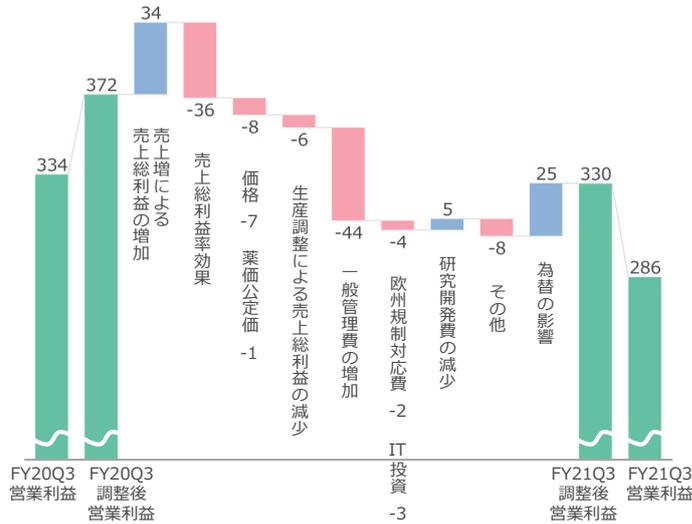
5 / 24

TERUMO

累計の、前年同期と比較した調整後営業利益の増減分析です。全カンパニーの増収が売上総利益を押し上げ、さらに売上総利益率効果は、3Qのインフレ要因等によるコスト上昇が押し下げ圧力になりましたが、TISを中心に製品ミックスの改善効果がこれを上回り、プラス3億円となりました。価格下落の影響や、生産調整、一般管理費の増加、欧州規制対応費などは、コロナの影響下にあった前年を上回っておりますが、販売やそれぞれの活動の正常化に伴うもので、ほぼ計画通りの進捗です。研究開発費や、原料血漿採取事業スタート準備を含むその他費用も、前年とほぼ同レベルの支出ですが、コロナの影響で若干の進捗遅れがみられます。為替の影響はプラス71億円となりました。ストックへの影響は軽微です。

調整後営業利益増減分析（Q3）

（億円）



- 売上増による売上総利益の増加：
コロナ影響からの回復が進んだ心臓血管の牽引により増収
- 売上総利益率効果：
インフレ（輸送費、原材料費、労務費の高騰）と工場における操業度低下のマイナス影響を受けて減少
- 価格：
主に中国でのTIS製品入札による価格下落
- 一般管理費の増加：
コロナ影響で費用進捗の遅れた20年度Q3との比較では大きく増加
- 為替の影響：
主に中国元・ユーロがフローに影響。ストックへの影響は軽微

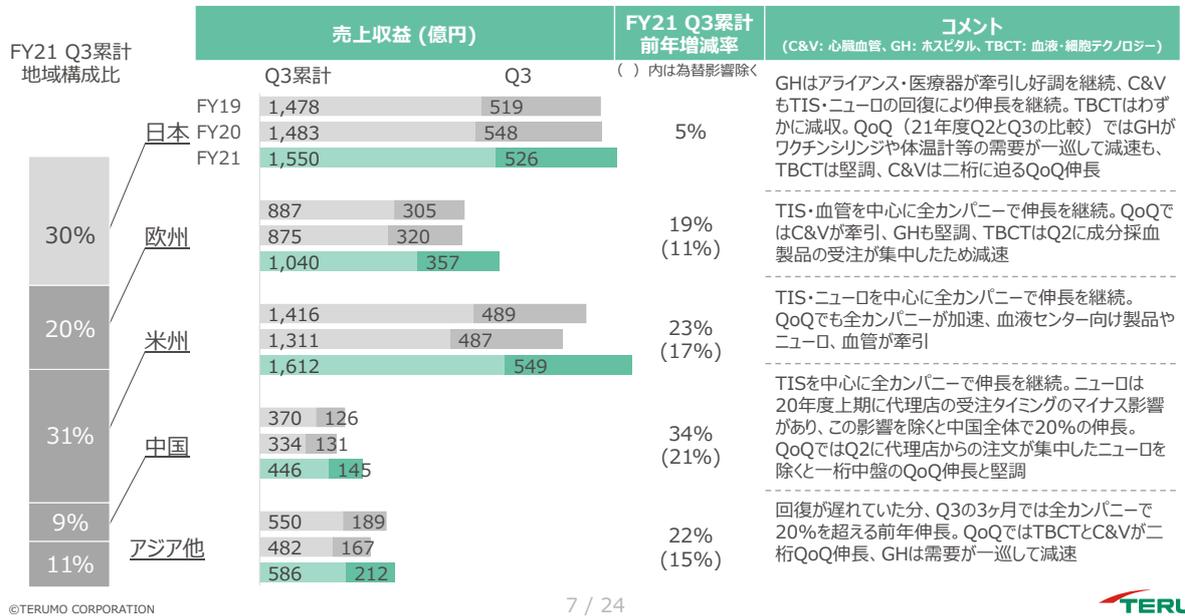
©TERUMO CORPORATION

6 / 24

TERUMO

3Q単体の、前年同期と比較した調整後営業利益の増減分析です。売上総利益率効果は、インフレコスト増と一時的な工場操業度低下の影響を受けて、前同比で36億円減少となりました。一般管理費は、コロナ影響下の昨年との比較で大きく増加していますが、活動が正常化し、計画通りに進んでいることを示しています。欧州規制対応費は、規制全体の動きに合わせて進めています。研究開発もコロナ影響によるスケジュールのずれ込みを反映していますが、しっかりと進めています。為替の影響はプラス25億円でした。

地域別売上収益



7 / 24



地域別売上収益です。

日本は、3Qのみではマイナス4%となりました。累計では前同比でプラス5%、19年度比でも同じく5%の伸長です。心臓血管カンパニーが、需要の回復が緩やかで2Qに対しては9%伸びていますが、コロナ禍において一時需要を取り戻していた昨年と比べマイナス2%となりました。同じく、昨年、感染対策製品や体温計などコロナ対策の需要が高かったホスピタルと、血液はマイナスでした。欧州は、3Qのみでは11%、累計では19%の伸びでした。心臓血管カンパニーが強く、前同比で17%、2Qと比べても9%の伸長を果たしています。TIS、ニューロが堅調な上に、CVと血管が大きく伸長しました。一方で、2Qに需要の寄った血液は3Qマイナスですが、トレンドは堅調です。米州は、3Qが13%、累計では23%の伸びでした。心臓血管は、TIS、ニューロ、血管が好調で15%の伸長となりました。2Qからも4%の伸長でした。ビジネスが順調なホスピタル・血液は一桁後半と、強い伸びを維持しています。中国は、3Qが10%、累計では34%の伸びでした。心臓血管カンパニーが、3Qが7%の伸長、累計で35%の伸長です。2Qに比べて、TISのアクセスが3%の伸びと、症例数も堅調に推移していると見ています。また、血液カンパニーにおける成分採血が大きく成長しており、全体の伸長を牽引しました。アジアのその他の国々は、コロナからの回復が勢いを増し、3Qが27%の伸びと

なり、累計も22%の伸長となりました。

心臓血管： 北米・欧州を中心とした症例数の回復、全事業での売上伸長が継続。
Q3は利益へのマイナス影響を、売上の好調と為替のプラス影響により低減

(億円)

	Q3累計			Q3			コメント	Q3累計 売上増減
売上 収益	()内は為替影響除く						TIS : 北米・欧州を中心とした海外の回復が継続。QoQ (21年度Q2とQ3の比較)では、Q2のデルタ株拡大による症例減から顕著な回復。部材の供給問題により受注残を抱えた一部のアクセス製品を除くと8%のQoQ伸長	+342
	2,635	2,384	2,944		909	890		
			+23% (+17%)			+12%		
調整後 営業利益							ニューロ : 北米・欧州を中心とした脳動脈治療の回復が継続。血栓吸引カテーテルも高成長を維持。QoQでは、Q2に代理店からの受注が集中した中国を除くと二桁QoQ伸長	+111
	688	560	723		216	240		
			+29% (+20%)			-10%		
調整後 営業利益率							CV : 北米・欧州における顕著な症例回復に加え、病院の投資再開により装置売上も好調。QoQでも北米・欧州で一桁後半のQoQ伸長	+51
	FY19	FY20	FY21	FY19	FY20	FY21		
	26%	24%	25%	24%	27%	22%		
							血管 : 欧州・北米を中心に回復基調が継続。QoQではコロナ再拡大からの回復が見られ、欧州・北米で20%台のQoQ伸長と加速	+55
							利益 :	中国入札や、在庫水準適正化に向けた生産調整に加え、インフレや工場操業度の低下によるマイナス影響を受けたものの、売上の好調と為替のプラス影響により一部相殺

©TERUMO CORPORATION

8 / 24



カンパニー別に、まずは心臓血管カンパニーです。

売上収益は3Qが12%、累計は23%の伸長です。2Qからも6%伸びました。TISが累計で342億円の売上増となり、成長を牽引しています。アクセスはその筆頭ですが、血管クロージャードバイスが、サプライチェーンの混乱による部材調達の遅れに加え、コロナ感染による生産の操業度低下で、バックオーダーを生じさせました。1月末に生産は通常モードに戻り、バックオーダーの完全解消に向けて取り組んでいます。

ニューロは、北米・欧州での脳動脈治療の症例数が伸び、引き続き血栓吸引カテーテルの販売も好調です。競争が激化している製品もありますが、幅広い製品群が旺盛な需要に応えています。

CVも、外科手術症例数の回復に加え、装置需要も強く、北米・欧州を中心に伸びています。

血管も他事業同様に、症例数の回復が成長を後押ししていますが、製品群と販売地域の拡大も順調に進み、2Qからの伸びもプラス30%に迫り、成長が加速しています。

利益について、期初から想定していた価格下落、生産調整の上に、コスト増が加わったため、売上増による製品ミックス改善をおおよそ相殺してしまい、調整後営業利益率は3Qでは22%となりました。累計は通期予想並みの25%です。

なお、足もとでは工場操業度低下は底を打ち、ほぼ回復してきています。

ホスピタル: ポンプや回転品を中心に医療器が牽引。利益に対する複数のマイナス要因が顕在化したものの、累計で通期予想並みの利益率を確保

(億円)

	Q3累計			Q3			コメント	Q3累計 売上増減
売上 収益	() 内は為替影響除く						医療器	+51
	1,278	1,290	1,387	450	472	468	: アジア・日本を中心とした回転品の需要回復や、コロナ対応のためのポンプ需要が牽引して二桁伸長。感染対策製品は需要が一巡。QoQ (21年度Q2とQ3の比較) では日本でポンプやワクチンシリンジ、アジアで回転品が牽引し二桁半ばのQoQ伸長	
調整後 営業利益	198	205	193	72	88	59	医薬品	+10
			+8% (+6%)			-1%	: 輸液剤は需要の回復が鈍く、一桁前半の伸長。疼痛緩和製品と癒着防止材は好調を継続。QoQでは需要が着実な回復を見せ、全体で一桁中盤のQoQ伸長	
調整後 営業利益率	16%	16%	14%	16%	19%	13%	DM・ヘルスケア	+6
			-6% (-5%)			-33%	: 体温計の需要が一巡するも、血圧計がアジア・日本で好調を継続。QoQではDMが一桁中盤のQoQ伸長と堅調も、ヘルスケア製品の需要が一巡	
							アライアンス	+30
							利益:	
							インフレに加え、体温計の需要一巡による製品ミックスの平常化や、中国での製造原価に対する為替のマイナス影響を受けたものの、累計では通期予想並みの利益率を確保	

©TERUMO CORPORATION

9 / 24



ホスピタルカンパニーです。

売上収益は3Qがマイナス1%、累計は8%の伸長です。2Qからはマイナス3%でした。

医療器では、ワクチンシリンジの供給増と、シリンジポンプや輸液ポンプの引き続き旺盛な需要が業績を牽引しています。日本に次ぐ売上規模のアジアにおいても、コロナ禍からの医療需要回復に伴い、3Q単体・累計ともに20%以上の伸長となりました。

輸液剤など医薬品の回復は緩やかですが、その中において癒着防止剤は症例数の回復とともに、販売促進活動が進み、昨年より20%以上、直近2Qと比べても10%以上の伸長をしました。

ヘルスケアはコロナ禍における体温計・血圧計の高い需要が一巡し、前同比でマイナスとなりましたが、DMが堅調で、全体として累計ではプラス伸長です。

アライアンスは堅調に推移しており、累計で16%の伸長となっています。

利益については、3Qには、インフレコスト増の上に、体温計のコロナ需要の一巡、また中国元高と、マイナス影響が重なりました。累計の調整後営業利益率は14%で、通期予想並みの利益率を維持しています。

血液・細胞テクノロジー： 全血採血を中心に、需要回復が継続。Q3は利益へのマイナス影響が高んだものの、累計では利益率の改善を継続

(億円)

	Q3累計			Q3			コメント	Q3累計 売上増減
	()内は為替影響除く							
売上 収益	787	810	902 +11% (+6%)	270	291	319 +10%	血液センター：全血採血が北米・欧州を中心に回復継続。成分採血製品もアジア・中国で好調、コロナ回復期血漿の需要減速の影響を押し返す。QoQ（21年度Q2とQ3の比較）では米州・アジアにおける全血採血製品の好調により一桁中盤のQoQ伸長	+61
調整後 営業利益	104	144	172 +19% (+8%)	37	56	54 -2%	アフレス治療：症例数の伸長に応じて病院が投資を進め、北米・欧州で二桁伸長を継続。QoQでも北米・欧州が牽引し二桁のQoQ伸長 細胞処理：20年度上期にはコロナ影響による導入遅延が見られたが、北米を中心に下期の回復から成長軌道へ	+24
調整後 営業利益率	13%	18%	19%	14%	19%	17%	利益：全血採血の需要回復による製品ミックスの平常化、新規事業の準備費用、インフレ、工場における操業度低下の影響を受けて減少したものの、売上好調や為替のプラス影響により一部相殺。累計では利益率の改善を継続	+7

©TERUMO CORPORATION

10 / 24

TERUMO

血液・細胞テクノロジーカンパニーです。

売上収益は3Qが10%、累計は11%の伸長です。2Qからは7%伸びました。血液センターのビジネスでは、欧米で成分採血の需要が引き続き強く、また全血の需要回復や、中国・アジアにおける成分採血の需要増も相まって、コロナ治療需要の強かった前年を10%上回る成長を見せました。

アフレス治療は症例数の増加とそれに伴う装置需要、細胞処理は需要回復により、どちらも累計で二桁の成長を維持しています。

利益については、全血採血の需要回復により、製品ミックスが平常化してきたところに、インフレ影響で、3Qのみの調整後営業利益率は17%、前同比でマイナスとなりました。累計の利益率は19%、プラス8%でした。ベトナムをはじめとした工場の操業度は回復しています。

業績予想の上方修正

(億円)

	従来 予想	今回 修正予想	修正額
売上収益	6,850	6,970	+120
営業利益 (%)	1,200 (17.5%)	1,200 (17.2%)	±0
調整後営業利益 (%)	1,370 (20.0%)	1,370 (19.7%)	±0
当期利益	920	920	±0
為替レート(USD/EUR)	108円/129円	112円/130円	

■ 為替影響を含むQ3までの上振れを反映した修正

■ Q4はコロナ再拡大の影響により、症例数を始めとした医療需要の一時的な減少を想定。また、インフレ影響や工場操業度の低下によるコスト増を見込むものの、費用コントロールによって相殺し、利益目標の達成を目指す

さて、冒頭のハイライトでも申し上げました通り、通期業績予想の修正をいたします。

売上収益についてプラス120億円の上方修正をし、6,970億円といたします。その他の予想に変更はありません。

主なトピックス

全社

- 5カ年成長戦略「GS26」を発表
- 「テルモグループ サステナビリティ基本方針」の制定とサステナビリティ重点活動テーマの改定



薬剤溶出型冠動脈ステント
「Ultimaster Nagomi」

心臓血管

- 薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster Nagomi」を日本で発売
- ECMOの研究開発と実用化および普及により「日本医療研究開発大賞 内閣総理大臣賞」を受賞
- 胸部ステントグラフト「RelayPro」の日本における製造販売承認を取得



胸部ステントグラフト
「RelayPro」

ホスピタル

- 小型シリンジポンプ「TE-362」を日本で発売
- 液体包帯の「ジェルクリア口腔用液」を日本で発売
- 仏Diabeloop社と糖尿病領域で包括的な提携契約を締結



小型シリンジポンプ
「TE-362」



液体包帯
「ジェルクリア口腔用液」



遠心型血液成分分離装置
「Spectra Optia」

血液・細胞 テクノロジー

- 米Immunicom社とがん免疫療法に関する業務提携を欧州で開始

©TERUMO CORPORATION

12 / 24

TERUMO

最後に3Qの主なトピックスです。

まず、12月に5カ年成長戦略「GS26」を発表させていただきました。今期を土台に、さらなる成長に向かってまいります。

各カンパニーでは、それを支えるUltimasterの次世代品上市、RelayProの地域拡大、糖尿病事業の提携の進展、血液細胞のイノベーションへの取組みなどを着実に進めています。

以上が決算の概要でございます。ご清聴ありがとうございました。

参考資料

21年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
心臓	次期薬剤溶出型ステント	日	済み
オンコロジー	生分解性薬剤溶出型ビーズ	欧	
	末梢血管塞栓用コイル	日	済み
	末梢血管塞栓用プラグ	米	済み
脳	血流改変ステント	欧米	欧：済み
	バルーン付きガイドカテーテル	欧米	
	コイルアシストステント	欧米	欧：済み
血管	胸部ステントグラフト	米	済み
	オープンステントグラフト	米	
	腹部ステントグラフト	日	済み

領域	製品	地域	ローンチ
医療器	次期輸液ポンプ	日	
	次期小型シリンジポンプ	日	済み
	FNシリンジ（16mm針）	日	済み
医薬品	フルマゼニル静注	日	済み
	次期無菌接合装置	日	済み
	ジェルクレア	日	済み
DM・ヘルスケア	次期持続血糖測定器	日	済み
	パッチ式インスリンポンプ	欧	済み
	100周年記念体温計	日	済み
	非接触データ通信体温計	日	済み
血液・細胞テクノロジー	血液自動製剤システム	グローバル	
	付加価値サービス	グローバル	済み

売上明細（地域別・事業別）

2021年度 第3四半期 セグメント別売上収益

Revenue by Segment for the Third Quarter of FY2021

(百万円/ millions of yen)

		Q3 YTD FY2020							Q3 YTD FY2021							構成比 % to total *							
		日本 JPN	海外 Overseas	欧州 Europe	米州 Americas	中国 China	アジア他 Asia and others **	合計 WW	日本 JPN	%ToF	海外 Overseas	%ToF	欧州 Europe	%ToF	米州 Americas		%ToF	中国 China	%ToF	アジア他 Asia and others **	%ToF	合計 WW	%ToF
心臓血管 カンパニー	TDS	23,015	138,760	38,686	61,502	22,052	16,517	161,776	24,055	4.8%	171,970	21.9%	47,139	21.9%	77,369	25.0%	27,047	22.6%	20,394	21.1%	196,025	21.2%	17.4%
	ニューロバスキュラー	3,330	27,766	10,100	12,141	2,612	2,911	31,096	4,084	22.7%	38,143	17.4%	12,362	22.4%	16,266	34.0%	6,397	144.9%	3,117	7.1%	42,228	15.4%	8.1%
	カーディオバスキュラー	8,344	22,243	3,793	13,911	1,146	3,392	30,588	8,249	-1.1%	27,473	21.5%	4,809	26.8%	17,191	23.0%	1,551	15.4%	3,919	15.0%	35,722	16.8%	6.8%
	血管	1,918	13,026	7,101	4,052	960	711	14,944	2,088	6.9%	18,336	40.8%	10,134	19.1%	6,075	49.9%	1,225	27.6%	850	23.8%	20,425	16.7%	3.9%
Cardiac and Vascular Company		36,608	201,796	59,581	91,608	26,772	23,532	238,405	38,478	5.1%	255,924	26.8%	74,487	24.4%	116,903	27.6%	36,221	35.3%	28,312	20.3%	294,403	25.1%	16.2%
ホスピタル カンパニー	医療器	38,741	17,511	1,969	4,840	923	9,777	56,253	40,503	4.5%	20,810	18.8%	2,076	5.4%	6,006	24.1%	1,008	9.2%	11,720	19.9%	61,314	9.0%	11.7%
	医薬品	34,397	-	-	-	-	-	34,397	35,429	1.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35,429	3.0%	6.8%	
	DM・ヘルスケア	17,624	2,126	588	7	701	818	19,751	17,437	-1.1%	2,906	56.7%	619	3.5%	25	246.0%	852	21.6%	1,408	72.0%	20,343	3.0%	1.9%
	ホスピタルシステム小計	90,764	19,637	2,568	4,847	1,625	10,596	110,402	93,370	2.9%	23,717	20.8%	2,695	4.9%	6,031	24.4%	1,861	14.3%	13,128	23.9%	117,087	6.1%	22.4%
アライアンス	11,830	6,791	4,693	1,561	100	435	18,621	14,294	20.8%	7,352	8.3%	4,987	6.2%	1,511	-3.2%	144	44.2%	708	62.6%	21,646	16.2%	4.1%	
General Hospital Company		102,594	26,429	7,262	6,408	1,725	11,032	129,023	107,664	4.9%	31,069	17.6%	7,682	5.8%	7,542	17.7%	2,005	16.2%	13,837	25.4%	138,733	7.5%	26.5%
血液・細胞 テクノロジー カンパニー	血液センター	8,480	51,782	16,012	20,058	4,206	11,415	60,262	8,307	-2.0%	58,075	12.2%	16,829	5.1%	21,982	9.6%	5,244	22.1%	14,018	22.8%	66,382	10.2%	12.7%
	がんレジス治療法	355	14,738	3,793	8,293	507	2,041	15,094	300	-15.6%	17,161	16.4%	4,363	15.0%	9,645	14.0%	904	78.3%	2,248	10.0%	17,462	15.7%	3.1%
	細胞治療	118	5,532	588	4,663	92	178	5,650	92	-1.7%	6,216	12.4%	633	6.0%	5,145	10.1%	229	149.4%	208	16.3%	6,399	11.7%	1.2%
Blood and Cell Technologies Company		8,954	72,053	20,403	33,115	4,896	13,638	81,007	8,700	-2.8%	81,453	12.0%	21,827	7.0%	26,772	11.0%	6,378	10.3%	16,475	20.8%	90,154	11.3%	17.2%
その他		191	-	-	-	-	-	191	190	-0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190	-0.4%	0.0%	
合計		148,349	300,279	87,547	131,132	33,393	48,202	448,628	155,034	4.5%	368,447	22.7%	103,997	18.8%	161,219	22.9%	44,605	33.6%	38,625	21.6%	523,482	16.7%	100.0%
売上比率		33.1%	66.9%	19.5%	29.2%	7.4%	10.7%	100.0%	29.6%	70.4%	19.9%	38.8%	8.5%	11.2%	100.0%								

(期中平均為替レート)

(Average Exchange Rates)

(USD)=¥106.11
(EUR)=¥122.44

(USD)=¥111.14
(EUR)=¥130.60

* 「中国」の売上を提示したとに併し、「アジア他」から「中国」の売上を除いています。

* Sales in China is not included in "Asia and others" from this reportable segment.

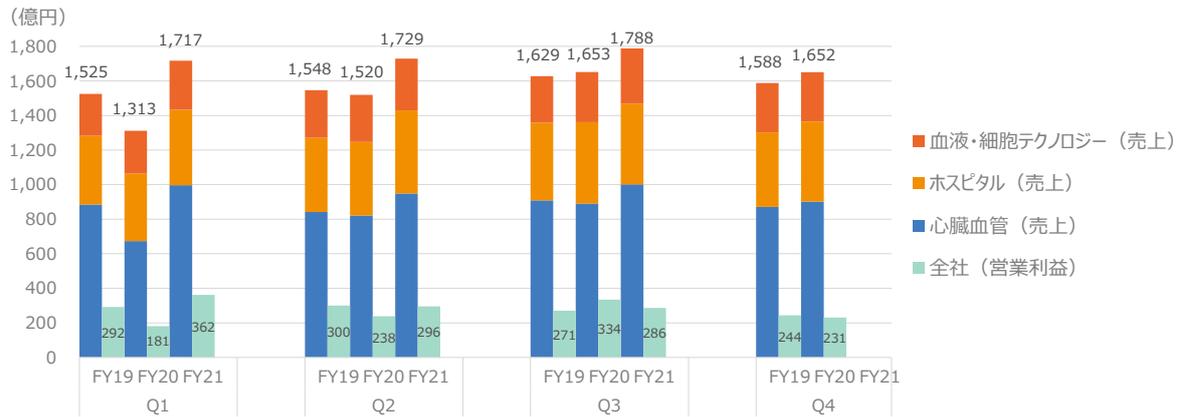
** 構成比は、小数点第2位を四捨五入して表示しており、合計が100%にならない場合があります。

** The composition ratio is rounded at the second decimal point, and the total may not be 100%.

売上収益・営業利益の四半期推移

■ 売上収益： Q3実績は20年度比8%伸長、19年度比は心臓血管が10%伸長と牽引し、全体でも10%伸長。為替（ユーロ等）もプラスの影響

■ 営業利益： Q3実績は中国入札や生産調整等のマイナス影響に加え、インフレや工場における操業度低下の影響を受けたものの、売上好調と為替のプラス影響により一部相殺



P&L (四半期推移)

(億円)

	FY20 Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY21 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	
売上収益	1,653	1,652	1,717	1,729	1,788	
売上総利益	908 (54.9%)	854 (51.7%)	943 (54.9%)	920 (53.2%)	926 (51.8%)	
一般管理費	447 (27.1%)	488 (29.5%)	465 (27.1%)	490 (28.4%)	507 (28.4%)	
研究開発費	128 (7.7%)	132 (8.0%)	117 (6.8%)	130 (7.5%)	128 (7.2%)	
その他収益費用	2	-2	1	-3	-5	
営業利益	334 (20.2%)	231 (14.0%)	362 (21.1%)	296 (17.1%)	286 (16.0%)	
調整後営業利益	372 (22.5%)	274 (16.6%)	402 (23.4%)	339 (19.6%)	330 (18.5%)	
四半期	USD	105円	106円	110円	110円	114円
平均レート	EUR	125円	128円	132円	130円	130円

©TERUMO CORPORATION

17 / 24

 TERUMO

販管費（四半期推移）

		(億円)				
		FY20 Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY21 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
	人件費	231	240	249	249	255
	販促費	35	43	30	40	44
	物流費	38	37	38	39	39
	償却費	47	49	48	50	51
	その他	97	119	99	112	118
	一般管理費計	447	488	465	490	507
	(%)	(27.1%)	(29.5%)	(27.1%)	(28.4%)	(28.4%)
	研究開発費	128	132	117	130	128
	(%)	(7.7%)	(8.0%)	(6.8%)	(7.5%)	(7.2%)
	販管費合計	575	620	581	621	635
	(%)	(34.8%)	(37.5%)	(33.9%)	(35.9%)	(35.5%)
四半期	USD	105円	106円	110円	110円	114円
平均レート	EUR	125円	128円	132円	130円	130円

販管費（前年同期比）

（億円）

	FY20 Q3累計	FY21 Q3累計	増減	増減率	為替除く 増減率	FY20 Q3	FY21 Q3	増減	増減率
人件費	687	753	66	10%	5%	231	255	24	10%
販促費	86	114	29	34%	30%	35	44	10	28%
物流費	106	117	10	9%	6%	38	39	2	4%
償却費	142	149	6	5%	2%	47	51	4	8%
その他	285	330	45	16%	12%	97	118	21	22%
一般管理費計	1,307	1,463	156	12%	8%	447	507	60	13%
(%)	(29.1%)	(27.9%)				(27.1%)	(28.4%)		
研究開発費	359	375	16	4%	1%	128	128	0	0%
(%)	(8.0%)	(7.2%)				(7.7%)	(7.2%)		
販管費合計	1,665	1,837	172	10%	6%	575	635	60	10%
(%)	(37.1%)	(35.1%)				(34.8%)	(35.5%)		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY20 Q3累計	FY21 Q3累計	FY20 Q3	FY21 Q3
営業利益	753	945	334	286
調整① 買収無形資産の償却費	108	118	37	39
調整② 一時的な損益	24	9	1	5
調整後営業利益	885	1,072	372	330

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY21 Q3累計	FY21 Q3
事業再編費用	6	3
その他	2	2

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

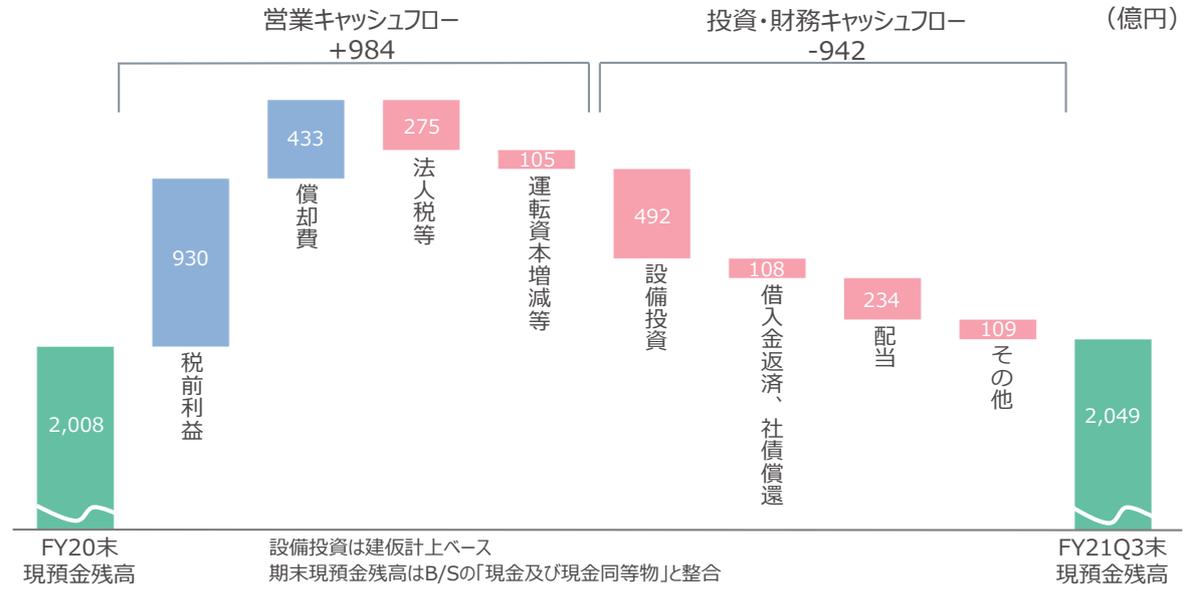
	FY18	FY19	FY20	FY21 Q3累計	FY21予想
設備投資	608	895	772	492	770
償却費	440	477	484	390	530
買収無形償却費	146	157	150	108	155
それ以外	294	320	334	282	375

設備投資は建設仮勘定計上ベース、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

■ 21年度Q3累計実績（492億円）：主にTIS、ニューロ、アライアンス、血液・細胞テクノロジー等の増産設備、生産スペース、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続

	FY18	FY19	FY20	FY21 Q3累計	FY21予想
研究開発費	477	506	491	375	515

キャッシュフロー（Q3累計）

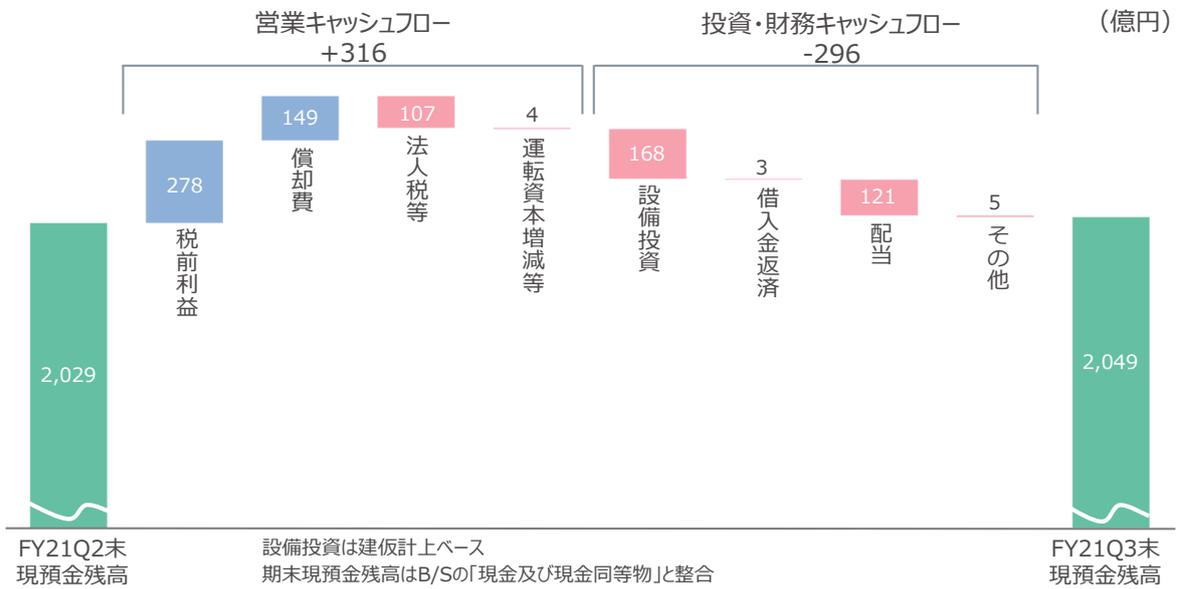


©TERUMO CORPORATION

22 / 24



キャッシュフロー（Q3）



為替感応度

1円の円安に対する年間影響額 (億円)

	USD	EUR	中国元
売上収益	17	8	35
調整後営業利益	0	5	15

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	中国元	その他
調整後営業利益	-1	10	65	13	23	36



Stride Ahead
100th